

橋町の見どころ

まちの歴史シリーズ ③⑨

橋町HP <https://tachibana-net.jp> [歴史・史跡](#) クリック

発行：橋町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和7年9月1日
責任者：吉野 勝美
原稿作：宮下 正博
事務局：橋公民館 22-3884

今月号の案内者は

大日区長 吉野 勝美さん

橋公業さんからはなれて8月号に引き続き、橋町内の水利の話。私が組合長をしている**井出水利組合**は、紹介すバイ。

組合の構成★①や仕組み★②は私が話すバツェン、歴史は、8月号のような資料のなかけん、たっぱくんよろしく！



★②組合の仕組み

毎年、各地区の耕作面積1反あたり70円と平等割1万円をいただいと。そいけん、年間28万円くらいの予算で、「潮見川の水利」バ管理しよっとタイ。

戸立周辺の草刈りなどの管理4名分で16万円、生見手当2万円（南片白区）、穂米料1万円（小野原区）、水神祭3万円、組合長報酬4万円などを支出。こうして、**三法方に係る管理**バしよ〜とタイ。

★①井出水利組合の構成

この組合は、上野・南北檜崎の3地区以外、町内10地区が参加しとうモンね。

●ここからボクの出番

●組合の目的は、右図「茂手の石井樋」で潮見川の水をせきとめることで、**潮見川に貯めた水を、各地区に配分するため**なんだ。

●右図は、井出橋の東たもとにある看板の地図★③。図の戸立★④、井出井関★⑤、野越、生見の石井樋などの**水利を管理**している。

●だから、貯めた水をどこかが勝手にポンプで揚げたりすると、下流が不足するね。

●できたのは、先月号で紹介した「池の内」が最初に築かれたところ★⑥だね。

(注：伸右衛門の活躍はそれから100年以上も後)

●池ノ内は、前田伸右衛門さんが活躍したけど、井出井関は成富兵庫★⑦と言う人が活躍★⑧したんだ

●この人は、佐賀県のあちこちで土木工事を指揮した★⑨ひととして有名だよ

★③井手橋たもとの看板地図

下の図の「**現在地**」のところにたっている



★④戸立と★⑤井出井関

昔は板戸を立てて、関にしていたので「戸立」。今は少し下流に、ハンドルで上下させる方式の関になった。



★⑥いつのころ？

鎮西肥前杵島郡永嶋井樋
藤原朝臣鍋島信濃守勝茂之臣
領主大蔵朝臣成富兵庫茂安部之
星輯寛永二乙丑仲冬日

(寛永二年は一六二五年)

石井樋上蓋銘石

江戸時代、寛永2年(1625)という記録が、石碑に残されているよ。石碑をうつしたのが看板に書かれているので紹介するね。
今年400年!!

★⑦成富兵庫ってだれ？

江戸時代、鍋島氏に仕え、佐賀県内の多くの治水事業を手がけた人。



★⑨あちこちで土木工事を指揮

武雄市の教育長をされた、田中耕作と言う人が「成富兵庫茂安」の本を書かれているんだ。この本の中に、江戸時代末期に茂安の事績を訪ね歩いて記録した「疎導要書」を転記されているので、それが詳しいよ。全部で77カ所のっているよ。



『疎導要書』の著者は南部長常。天保五年(1834)に藩内をくまなく廻って、茂安の事績を調べ上げた調書。これには「その1の巻」に39カ所、「その2の巻」に38カ所が記録されている。成富兵庫は佐賀藩全体に渡って土木工事を差配したことが分る。

掲載されている地図の杵島部分を拡大加工して添付した。

★⑧橋ではどんな活躍？ これも看板からどうぞ!! (兵庫くんは佐賀市HPから)



「兵庫くん」

成富兵庫茂安は七カ年の間潮見の長泉寺に宿泊して監督しました。長泉寺には過去帳・位牌・供養塔の石碑が残っています。
二俣区では現在でも毎年九月十八日兵庫祀りを行っています。
昭和五十年代の改修工事では、生見の石井樋だけが見ることが出来ます。

茂安は橋町の北部(二俣・沖永・鳴瀬の一部)への取水を目的として潮見川を改修し、貯水池としました。この改修工事で、開田面積が六十町歩と言われ、当時の収穫で千二百石の増収が出来ました。
配水方法や洪水対策として、生見の石井樋(一丁石井樋)・茂手の石井樋(二丁石井樋)・野越・井手の戸立・象ノ鼻等を造りました。
象ノ鼻は水の流れる川が象ノ鼻に似ていることから付けられた名称です。
佐賀の石井樋にある象ノ鼻は陸地が象ノ鼻になっています。

成富兵庫茂安の三法方石井樋



令和三年度 橋町まちづくり推進協議会